

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【公表番号】特表2015-518168(P2015-518168A)

【公表日】平成27年6月25日(2015.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2015-041

【出願番号】特願2015-515019(P2015-515019)

【国際特許分類】

G 0 1 N 27/22 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/22 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月9日(2016.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

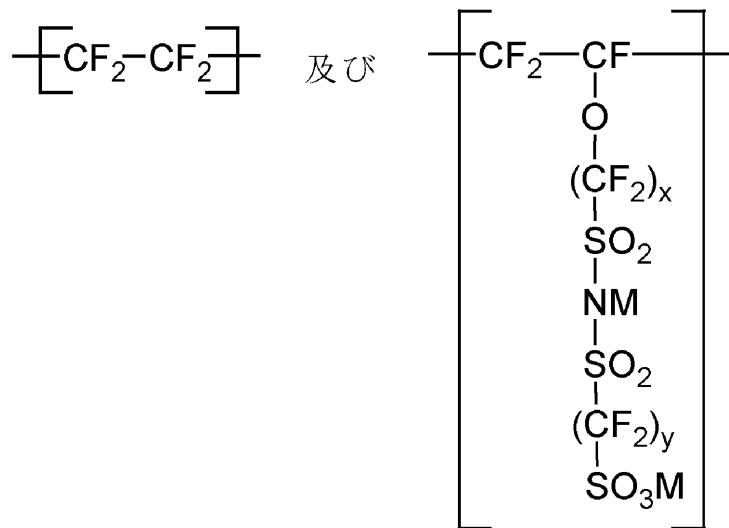
誘電性基板と、

電気的に接続された第1の導電性部材を有する無孔質導電性電極であって、前記誘電性基板上に配置される、無孔質導電性電極と、

電気的に接続された第2の導電性部材を有する透過導電性電極であって、4~10ナノメートルの範囲の厚さを有し、かつ水蒸気を透過させる、透過導電性電極と、

前記無孔質導電性電極と前記透過導電性電極との間に配置される検出層であって、

【化1】



(式中、 $x$ 及び $y$ は、独立して2~6の範囲の整数であり、それぞれのMは、H又はアルカリ金属を独立して表す)を含む単量体単位を含むスルホン化共重合体を含む、検出層と、を備える、湿度センサ素子。

【請求項2】

入口開口部を有するセンサ室と、

静電容量を有する、請求項1に記載の湿度センサ素子であって、前記入口開口部と流体

連通している前記センサ室内に配置される、湿度センサ素子と、

前記湿度センサ素子の第1及び第2の導電性リードと電気通信しており、これによつて、前記湿度センサ素子が電源に接続されると、前記センサ素子の前記静電容量を測定する、操作回路と、を備える、湿度センサ。